

大東亞建設民族人口資料四五
昭和一七年五月一日

内地外ニ於ケル内地人口ノ増殖力ニ関スル調査

其ノ二 主要地域別在内地外内地人口動態比較

厚生省 人口問題研究所

B5D.8/
90
1-45

M93A05
85

目次

- 一 目的
- 二 方法
- 三 結果及若干說明
- 四 括要

一、目的

本調査其ノ一（註一）所載ノ目的ニ基キ、本輯ニ於テハ取り得ル最近年次ニツキ外地及英米圈内主要地域ニ於ケル内地人口ノ人口動態ノ比較ヲ行ヒ、特ニ氣付キタル若干ノ事實ヲ指摘セントス。

二、方法

1. 地域

地域ハ資料ノ關係上一應次ノ如ク分テリ。

(1) 内地

(2) 外地——樺太、関東州（州内）、台灣、南洋群島

(3) 外國——中國、英領マレイ、比律賓、蘭領印度

2. 年次

(1) 内地及外地ニツキテハ大正九年以降昭和一〇年ニ至ル各

國勢調査年次ニツキ普通動態率及標準化動態率ヲ算定セリ。

但シ南洋群島ニツキテハ大正一四年以降昭和一〇年ニ至ル

各國勢調査年次ニツキ算定セリ。

(2) 外國四地域ニ於テハ昭和一一——一二年ニツキ算定セリ。

3. 動態比較法

既ニ指摘シタル如ク(註ニ)、在内地外内地人口ハ各地域ニヨリ、特ニ在内地内地人口ニ比シ著シク其ノ構成ヲ異ニスルヲ以テ普通動態率ヲ彼此比較スルコトニヨリテハ其ノ増殖力ヲ比較スルコト困難ナリ。カクテ以下列記ノ資料ニ基キ各地域ニ於ケル普通動態率ヲ算定シ、之ヲ用ヒテ各地域ノ動態率ヲ標準化スルノ方法ヲ採レリ。標準化法ハ *New-Skolme-Standard* ノ間接法ニ據リ、標準人口ハ大正一四年内地人口ヲ用ヒタリ(註三)。

4. 普通人口動態率

各地域ニ於ケル普通人口動態率ハ左ノ資料ニ據リ、又ハ之ニ基キ算定セリ。

(1) 内地——内閣統計局「日本帝國人口動態統計」

(2) 樺太 内閣統計局「大日本帝國統計年鑑」

(3) 関東州 内閣統計局「関東州人口動態統計」

(4) 台湾 内閣統計局「台湾人口動態統計」

(5) 南洋群島 南洋廳「南洋廳統計年鑑」

(6) 外國四地域 東亞研究所「昭和一一年、一三年在外本邦内地

人口動態統計」

5. 標準化動態率算定ニ用ヒタル人口構成

男女、年齢及配偶関係別人口構成ニツキ標準化セリ。人口構

成ニツキ據リタル資料左ノ如シ。

(1) 内地 内閣統計局「國勢調査報告」

(2) 樺太 樺太廳「國勢調査報告」

(3) 関東州 関東局「國勢調査報告」

(4) 台湾 台湾總督府「國勢調査報告」

(5) 南洋群島 南洋廳「國勢調査報告」

三、結果及若干ノ説明

以上ノ結果ヲ取纏メテ表示スレバ第一表ノ如シ。

1. 最近年次ニ於テ内地ニ比シ標準化出生率ノ高キ地域ハ、比律賓、台湾、南洋群島及樺太ニシテ以上ノ順位ヲ示セリ。反之、内地ニ比シ標準化出生率低キ地域ハ関東州、中國、英領マレイ及蘭領印度ニシテ以上ノ順位ヲ示セリ。

2. 最近年次ニ於テ、内地ニ比シ標準化死亡率高キ地域ハ樺太ノミニシテ爾餘ノ地域ハ何レモ低シ。

3. 最近年次ニ於テ内地ニ比シ標準化自然増加率高キ地域ハ、比律賓、台湾、南洋群島及樺太ニシテ此ノ順位ヲ示セリ。反之、内地ニ比シ標準化自然増加率低キ地域ハ、中國、関東州、英領マレイ及蘭領印度ニシテ此ノ順位ヲ示セリ。

表1 在内地外内地人口动态 (普通率及标准率)

地域	年次	标准			普通			自然增加率 ‰
		出生率 ‰	死亡率 ‰	自然增加率 ‰	出生率 ‰	死亡率 ‰	自然增加率 ‰	
日本 (内地)	大正 9	35.96	25.49	10.47	36.19	25.41	10.78	
		34.92	20.27	14.65	34.92	20.27	14.65	
	昭和 5	33.29	18.13	15.16	32.35	18.17	14.19	
		33.70	17.02	16.68	31.63	16.78	14.85	
	大正 9	29.77	41.45	-11.68	35.33	34.36	0.98	
		28.27	23.32	4.95	32.18	19.26	12.92	
	昭和 5	31.99	23.71	8.28	37.38	20.33	17.05	
		34.97	18.04	16.93	37.40	15.65	21.74	
	大正 9 ²⁾	21.92	27.28	-5.56	31.91	20.15	11.76	
		25.75	22.17	3.58	35.42	14.89	20.53	
昭和 5	28.87	24.02	4.85	35.83	19.28	16.55		
	20.14	13.41	6.73	23.01	10.62	12.39		

A

台 考	大正		昭 和	大正	昭 和	大正	昭 和	大正	昭 和
	昭 和	大正							
南洋群島	昭 和	10	38.28	13.12	25.16	29.56	10.91	18.65	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	
中 國	昭 和	5	39.64	14.35	25.29	29.86	11.84	18.02	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	
英領以 比等處	昭 和	5	36.00	15.92	20.08	52.38	13.41	38.91	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	
南領印度	昭 和	10	36.64	15.77	20.87	49.59	13.32	36.27	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	
中 國	昭 和	11-12	21.46	15.88	4.58	23.37	12.33	11.04	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	
英領以 比等處	昭 和	11-12	22.17	10.73	11.44	20.05	7.67	12.38	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	
南領印度	昭 和	11-12	27.50	12.03	15.47	29.89	8.70	21.19	
	大正	9	—	—	—	—	—	—	

- 1) 日本内地及南洋各島總人口、他内地人口。
- 2) 大正9年八南滿洲鐵道附屬地人口。
- 3) 少數、朝鮮人及台灣人人口。

々、標準化死亡率ノ地域の差異ノ幅ハ、標準化出生率ノソレニ比シ明
カニ小ニシテ、在内地外内地人人口ノ動態ニツキテモ亦増殖力ヲ決
定スルデモグラフの要因ハ出産力ニアリ。

エ、外地ニツキ過去ニ。年間毎五年ノ標準化動態率ノ変化ヲ見ルニ、

(一ノ) 標準化出生率ノ明瞭ナル上昇ト同死亡率ノ顯著ナル減退

ヲ示シ、從ツテ標準化自然増加率ノ著シキ増大ヲ示セルモ
ノハ、南洋群島ニシテ、極大又之ニ亞グ。

(二ス) 標準化自然増加率依然トシテ高シト雖、標準化出生率ニ

於テ稍々減退ノ傾向ヲ認め、同死亡率ノ減退ヲ認め難キモ
ノハ台灣ナリ。

(三) 関東州ノ標準化自然増加率ハ極メテ低ク、標準化出生率

及同死亡率ニ明瞭ナル傾向ヲ認めルコト困難ナリ。

六、外地及其ノ他四地域ニツキテ普通動態率及標準化動態率ヲ比較ス

レバ、

(1) 台湾及英領マレイヲ除キ、他ノ地域ニ於テハ何レモ普通

出生率ハ出生力ニ対シテ過大ニ表現セラレ

(2) 普通死亡率ハ全地域ニ亘リ、過小ニ表現セラレタル傾アリ

四、括要 (註四)

1、以上ノ結果ニツキテ見ル限リ、内地人口ガ内地外ノ地域ニ居住シ

タル場合、其ノ増殖力ハ常ニ必シモ低減スルト稱スルヲ得ザルト共

ニ常ニ必シモ上昇スベシト断ズルヲ得ズ。地域ニヨリテ著シキ

差異ヲ示セリ。但シ、一般ニ、現在ニ於テハ在内地外内地人口

ノ増殖力ハ在内地ニ比シ低減スル傾キアルヲ認メザルベカラズ。

2、南方地域ニ於ケル内地人ノ死亡率低ク出生力高キ事例ニヨリ曰本

人ノ生物学的熱帯適性ノ根據ノ一トナス説(註五)アリト雖、此処

ニ得タル結果ノミヲ以テ速断スルヲ許サズ。極メテ概括的ニ北

方ニ比シ南方ニ於テ増殖力高キ傾アルハ之ヲ認メ得ベシ。

3. 本稿ニ於テハ動態率ヲ標準化スルニ當リ、職業別構成ノ差異ヲ除去セズ。職業別構成特ニ農業人口ノ割合ノ差異ガ、増殖力決定上重要ナル要因タル出生力ニ對シテ重大ナル影響ヲ及ボスベキハ推測ニ難カラズヘ註六。今試ニ諸地域ニ於ケル農業人口ノ割合ヲ表示スレバ第ニ表ノ如シ。比律賓ニ於ケル増殖力が特ニ優レ及之、英領マレー及蘭領印度ニ於ケル増殖力ノ優レガルハ農業人口ノ割合如何ニ基クトコ口數シセズ。中國及関東州ニ於ケル内地人人口ノ増殖力ノ良好ナラザルハ農業人口ノ割合極メテ小ナル事實ニ基フトコ口少ナカラズト見ルヲ得ベシ。

4. 白色人文明民族トハ異リ、内地人人口ニツキテハ在内地外内地人人口ニ出生力減退ガ全面的ニ波及シタリト言フ事實ハ現在之ヲ認めルヲ得ズ。

第 2 表 地域別農業人口割合
(有業者中)

地 域	農業人口率	地 域	農業人口率
	%		%
樺 太	260.8	中 國	1.6
關 東 州	14.0	英 領 暹 羅	49.3
台 灣	49.1	比 律 賓	517.8
南 洋 群 島	463.4	英 領 印 度	55.7

外地ハ昭和 5 年、外國ハ地域ハ昭和 10 年。

以上ノ結果ハ未ダ極メテ簡單粗雑ナリト雖、以之、在内地外内地
人人口ノ増殖力ニ関スル精密ナル調査研究ノ緊急必要ナル所以並ニ
大東亜建設ノ爲内地人人口ヲ内地外諸地域ニ配置スルニ際シ、在內
地外内地人人口ノ増殖力保持向上ニ関スル考慮ノ重大ナル所以ハ之
ヲ察スル難カラズト言フベシ。

註一 人口問題研究所「内地外ニ於ケル内地人人口ノ増殖力ニ関スル

調査——其ノ一明治三二年以降大正一三年ニ至ル在内地外内地人

口ノ普通動態率」大東亜建設民族人口資料三九、一頁参照。

註二 人口問題研究所「上掲資料八頁参照。

註三 人口問題研究所「人口問題研究」第一卷第一号、昭和一五年四

月、三一—三二頁参照。

註四 本稿ノ結果ニツキテハ左ノ文献比較参照。

医学博士曾田長宗「在内地人及ビ台湾本島人ノ自然的人口増

加ニ関スル批判的考察——人口問題研究會「第四回人口問題
全國協議會報告書（上）」、昭和一六年所載。

茨井生三「東亞諸地域ニ於ケル日本人ノ人口動態」——同上所
載。

東亞研究所「東亞諸地域ニ在住スル日本人ノ人口動態ニ関スル
一、三ノ考察」

註五 例ハバ

W. S. Thompson: *Dangerous Spots in World
Population*, 1930, pp. 43 ff.

註六 人口問題研究所出産力調査結果

